|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 社会科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　社会生活についての理解や情報を調べまとめる技能について  ○　社会的事象の意味を多角的に考えたり、公正に判断したりすることについて  ○　よりよい社会を考えようとする態度について |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　世界の人々との共生について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　作業的、体験的な学習について  ○　知識、技能を活用した問題解決的な学習展開について  ○　思考力・判断力をはぐくみ、調べたことや考えたことを表現する学習活動について |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 社会科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　社会生活についての理解や情報を調べまとめる技能について  ○　社会的事象の意味を多角的に考えたり、公正に判断したりすることについて  ○　よりよい社会を考えようとする態度について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　気づいたことや疑問に思ったことを話し合って学習問題をつくり、それらをいろいろな方法で調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べまとめる技能を身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　「空間」「時間」「相互関係」の観点で児童への問いかけが示されており、これらの問いについて考えながら学習を進めることで、児童が多角的に考えたり、公正に判断したりできるよう取り扱われている。  ○　「いかす」では、児童が学習してきたことを踏まえて、例えば、町の発展や環境保全などについて考えることを通して、よりよい社会に向けて自分ができることを考えられる内容となっている。 |
| 教　出 | ○　疑問に思ったことや知りたいことを整理して学習問題をつくり、それらの解決に向けて調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べまとめる技能を身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　「まとめる」では、社会的な見方・考え方の観点で、学んできたことをもとに話し合ったり、表現したりすることで、児童が公正に判断したり、多角的に考えたりすることができるよう取り扱われている。  ○　「つなげる」では、児童が学習してきたことを生かして、例えば、安全なくらしや政治への参加などについて考えることを通して、よりよい社会に向けて自分ができることを考えられる内容となっている。 |
| 日　文 | ○　児童一人ひとりの素朴な問いから、話し合って学習問題をつくり、それらを解決するために調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べまとめる技能を身に付けられる内容が取りあげられている。  ○　「見方・考え方」コーナーで、「空間」「時間」「関係」の観点で児童への問いかけが示されており、これらの問いについて考えながら学習を進めることで、児童が多角的に考えたり、公正に判断したりできるよう取り扱われている。  ○　「さらに考えたい問題」として、児童が学習してきたことを踏まえて、例えば、安全なくらしや環境保全などについて考えることを通して、よりよい社会に向けて自分ができることを考えられる内容となっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　世界の人々との共生について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるとともに、文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、６年の基本的人権の尊重に関する学習では、自治体での人権啓発活動の取組みなどが取りあげられている。  ○　すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、４年では外国の人たちと共に行う防災訓練を通して取り組む多文化共生など、６年では日本とのつながりの深い国々の文化や生活、スポーツや文化による国際交流などが取りあげられている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 教　出 | ○　様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるとともに、文章、写真、  挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、６年の基本的人権の尊重に関する学習では、ハンセン病と人権侵害、先住民族の人々の人権、障害者差別解消法などが取りあげられている。  ○　すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、４年では外国から来た人との交流会を開いた人の話など、６年では日本とつながりの深い国々の文化や生活、在日外国人の人々とともに地域社会をつくっていく事例などが取りあげられている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 日　文 | ○　様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるとともに、文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、６年の基本的人権の尊重に関する学習では、自治体の取組みや、子どもの権利条約、障害者差別解消法などが取りあげられている。  ○　すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、４年では外国人への支援活動などを通じて多文化共生をめざすまちづくりなど、６年では日本とつながりの深い国々の文化や生活、スポーツや文化による国際交流などが取りあげられている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。例えば、キャラクターが児童の思考の流れをつくる発言や重要な疑問を示すなどの内容になっている。  重要語句については、本文上でゴシック体の太字にし、同ページの本文外に「ことば」として取り上げ、その語句について補説している。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 教　出 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。例えば、キャラクターの吹き出しによって「調べる」着眼点が示されたり、内容が補説されたりしている。  重要語句については、本文上で太字にし、同ページの本文外に「キーワード」として取り上げている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 日　文 | ○　児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。例えば、本文に関連資料の番号を示したり、キャラクターが児童の思考の流れをつくる問いかけをしたりするなどの内容になっている。  重要語句については、本文上でゴシック体の太字にし、同ページの本文外に「キーワード」として取り上げ、その語句について補説している。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　各学年の扉ページに、前の学年で「学んだこと」とその学年で「学ぶこと」がまとめられている。  　　４年「２住みよいくらしをつくる」では、水の学習の後にごみの学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については「ひろげる」というページで発展的学習として配列されている。  ６年では「１わたしたちの生活と政治」「２日本の歴史」「３世界の中の日本」と、政治、歴史、国際理解の項目順で学習する配列になっている。  ○　「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の単元構成を基本とし、それぞれの学習段階のめあてが明示されている。単元末には学習問題をもとに単元を振り返る「まとめる」ページがあり、語句や社会的事象の意味・関連が確認できる構成になっている。  ○　本文がページの中央、資料が周りというようにページ配置がされている。また、「まなび方コーナー」において、学習場面に応じた学び方が示されている。他教科との関わりがあるページ下部には「教科関連マーク」が示されている。 |
| 教　出 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　各学年の扉ページに、前の学年で「学んだこと」「できるようになったこと」「学び方」についての振り返りと、「見方・考え方」の視点がまとめられている。  　　４年「２健康なくらしとまちづくり」では、ごみの学習の後に水の学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については、水の学習と置き換えられるよう配列されている。  　　６年では「１ともに生きる暮らしと政治」「２日本の歴史」「３世界の中の日本」と、政治、歴史、国際理解の項目順で学習する配列になっている。  ○　「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の進め方を基本とした単元構成がされている。単元末には学習問題をもとに単元を振り返るページがあり、語句や社会的事象の意味・関連が確認できるような構成になっている。  ○　本文がページの中央、資料が周りというようにページ配置がされている。また、授業時間ごとに、「この時間の問い」と「次につなげよう」が示されている。「学びのてびき」として、学習に必要な技能が示されている。 |
| 日　文 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　各学年の扉ページに「社会科の学習でたいせつなこと」が示されている。  　　４年「２健康なくらしを守る仕事」では、ごみの学習の後に水の学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については、水の学習と置き換えられるよう配列されている。  ６年では「１わが国の政治のはたらき」「２日本のあゆみ」「３世界のなかの日本とわたしたち」と、政治、歴史、国際理解の項目順で学習する配列になっている。  ○　児童一人ひとりの問いを大切にしながら、話し合って学習問題をつくり、学習計画（調べたいこと、調べ方、まとめ方）を立てて、学習を進めていく単元構成となっている。単元末には、学習問題について話し合うページが設けられており、単元を振り返り、自分なりにまとめるポイントが示された構成になっている。  ○　本文がページの中央、資料が周りというようにページ配置がされている。また、「学び方・調べ方コーナー」において、学習計画の立て方や学習に必要な技能が示されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　作業的、体験的な学習について  ○　知識、技能を活用した問題解決的な学習展開について  ○　思考力・判断力をはぐくみ、調べたことや考えたことを表現する学習活動について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　白地図作りの活動、見学や聞き取りなどの作業的、体験的な活動が紹介されている。  ○　問題解決的な学習展開が「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の４段階に分けられており、「学習の進め方」として、それぞれの段階における学習方法が示されている。また、「本時のめあて」に４つの学習段階が示されている。  ○　「社会的な見方・考え方」をキャラクターのマークによって、「空間」「時間」「相互関係」のどの観点を働かせて考えるのかが示されている。また、「まとめる」では、多様な表現活動が提示されている。 |
| 教　出 | 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　地図帳や地球儀を活用した活動、見学や聞き取りなどの作業的、体験的な活動が紹介されている。  ○　問題解決的な学習展開が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の４段階に分けられており、「社会科の学習の進め方」として、それぞれの段階における学習方法が示されている。また、各授業時間で学ぶ末尾部分に「次につなげよう」（次時につながる問い）が示されている。  ○　「社会的な見方・考え方」を子どもの発言や問いの形で、時期や変化等の観点が例示されている。また、「まとめる」では、多様な表現活動やノートの例が提示されている。 |
| 日　文 | 社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　粘土を使って地形を立体的に表現する活動、見学や聞き取りなどの作業的、体験的な活動が紹介されている。  ○　学習問題を設定し、学習計画を立て、見る・調べる、まとめる活動を通して、問題解決的な学習に取り組むことができるよう設定されている。また、学習問題を解決した後で生まれた疑問を「さらに考えたい問題」として提示している。  ○　「社会的な見方・考え方」をマークによって、「空間」「時間」「関係」のどの観点を働かせて考えるのかが示されている。また、「学習の計画」のまとめ方において、多様な表現活動が提示されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　単元末尾では、学習してきた語句を再掲するなど、学びを振り返ることができるよう配慮されている。  「ひろげる」では、学んだことにかかわるコラムや資料を掲載するなど、学習したことをもとに自主的な学習ができるよう取り扱われている。  なお、「Ｄマーク」があるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 教　出 | ○　単元末尾では、キーワードが再掲されたり、表や図にことばや文を入れたりしながら復習できるよう配慮されている。  「ひろげる」のページでは、学んだことにかかわるコラムや資料を多く掲載するなど、児童の興味関心に応じて活用できるよう取り扱われている。  なお、「まなびリンク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 日　文 | ○　単元末尾では、キャラクターが調べたことや考えを交流する場面があり、学習を振り返りながら復習できるよう配慮されている。  「わたしたちの学びを生かそう」では、学んだことにかかわるコラムや資料を掲載するなど、学習したことをもとに自主的な学習ができるよう取り扱われている。  なお、「デジタルマーク」があるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |